

- 1975年4月 静岡県浜名郡舞阪町に生まれる、先天性ブドウ膜欠損症のため視力は右目のみ
- 1980年(5歳) 水泳を始める、11歳で 浜名地区西ブロック水泳大会 50m背泳 優勝
- 1990年(15歳) 右目の視力が完全に失われる。
国立筑波大付属盲学校高等部入学、寮生活に入り点字と白杖の習得。
水泳トレーニングに励む。
- 1992年(17歳) 1992年 バルセロナ パラリンピック全盲部門出場(銀：2個、銅：3個)
- 1993年(18歳) 国立筑波大付属盲学校高等部卒業
- 1994年(19歳) 早稲田大学教育学部入学。IPC世界選手権(マルタ共和国)水泳競技出場(金:1、銅:1)
- 1996年(21歳) アトランタ パラリンピック全盲部門出場(金：2個、銀1個、銅1個)
- 1997年(22歳) 教員採用試験を受験、早稲田大学を卒業。
母校の舞阪中学校に社会科の教師として着任。全盲では初めて1年生の副担任を担当
- 2000年(25歳) シドニー パラリンピック出場(金：2個、銀：3個)
- 2003年(28歳) 2年間休職して早稲田大学大学院に進学(学校教育専攻)
自伝映画「夢追いかけて」が劇場公開
- 2004年(29歳) 2004年アテネ パラリンピック大会7種目に出場
金1個、銀2個、銅2個のメダルを獲得
- 2005年(30歳) 浜松市立舞阪中学校に復職。水泳部顧問。
IBSA世界ユース選手権大会 日本水泳チーム監督
- 2006年(31歳) 結婚。JICA青年海外協力隊としてマレーシアの視覚障害者への水泳指導
- 2007年(32歳) 静岡県総合教育センター教育支援部特別支援教育課指導主事 着任
- 2008年(33歳) 2008年北京 パラリンピック大会4種目に出場。
銀1個、銅1個のメダルを獲得し、
パラリンピック競技における日本人メダル獲得数最多となる。
静岡県浜松市やらまいか大使(平成20年度 委嘱)
- 2009年(34歳) 2016年東京オリンピック招致のためIOC総会(コペンハーゲン)にアスリートとして出席
東京アジアユースパラゲームス日本代表水泳チーム監督
- 2010年(35歳) 長男誕生、公務員を辞して静岡選挙区から参議院議員に立候補
- 2012年(37歳) 2012年ロンドンパラリンピック大会3種目に出場。2種目入賞(4位、6位)
- 2014年(39歳) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、
日本スポーツ振興センター研究員となる団体1/団体2

